

森のはたりき

元気な森や里山は、雨水をたくわえる「緑のダム」をはじめ、「二酸化炭素の吸収などたくさんの働きを持っています。マモルンと一緒に森を歩けば、森と環境の素敵なつながりが見えてきますよ。

森と水をつなぐ深いきずな

地球の表面は70%が水でおおわれています。南極や北極の氷、川や海の水、空気中の水分など、さまざま形で存在する水は、太陽の熱で海や陸から蒸発し、大気中で雲をつくり、やがて雨や雪となつて地表に降ってきます。その水は雨、川や海に流れ込み、空と陸、海とのあいだをバランスよく行つたり来たりしています。

そんななか、地球上の水の量の循環に役立つているのが森です。では、具体的に森の役割を見てみましょう。

元気な森が育つためには、たくさんの水が必要なんだ。ボクたちが住んでいる日本はよく雨が降るところなので、ずっと昔から森が育ってきたよ。木の近くにある森や里山にも、とても大きな木があるんじゃないかな。でもね、森は自分が大きくなるために水をつかっていなければいけない、人間がくらしていくために、とても大事なはたらきをしているんだ。

そうなんだよ。土の中で木の根が張っていて、砂災害から守ってくれるんだ。

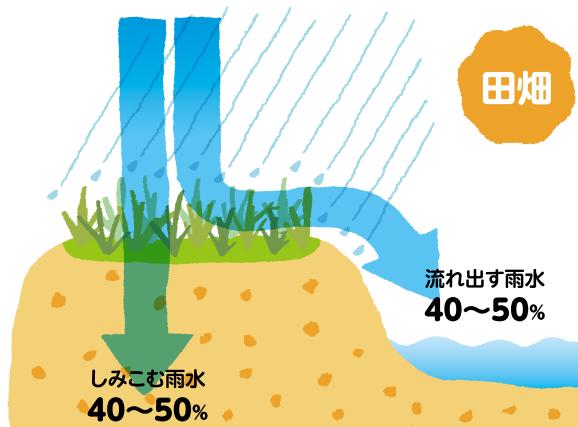
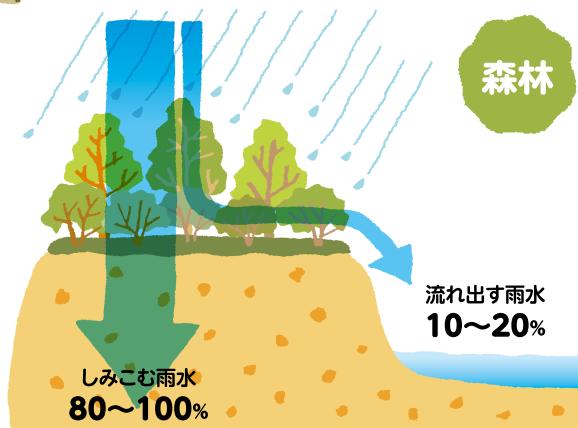
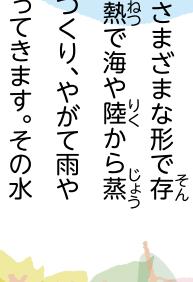
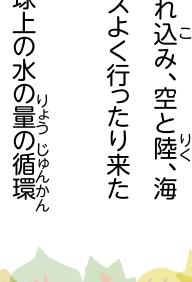
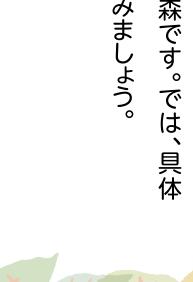
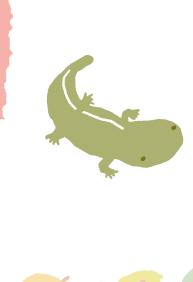
おじいちゃんが元気な森は大丈夫だって。

雨ばかりだと土砂くずれしないのかな。

元気な森は大丈夫だって。

土砂くずれ

守ってくれるんだ。



出典:W.Mマーシュ、1998「暮らしと森林」(一社)全国林業改良普及協会



●学習指導要領とのリンク

【理科】 [全学年共通] 生物、天気、川、土地などの指導に当たっては、野外に出掛け、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れるとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うようにする。

【社会】 [第5学年] わが国の国土の自然環境と国民生活との関連について、地図帳や各種の資料で調べ、森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現する。

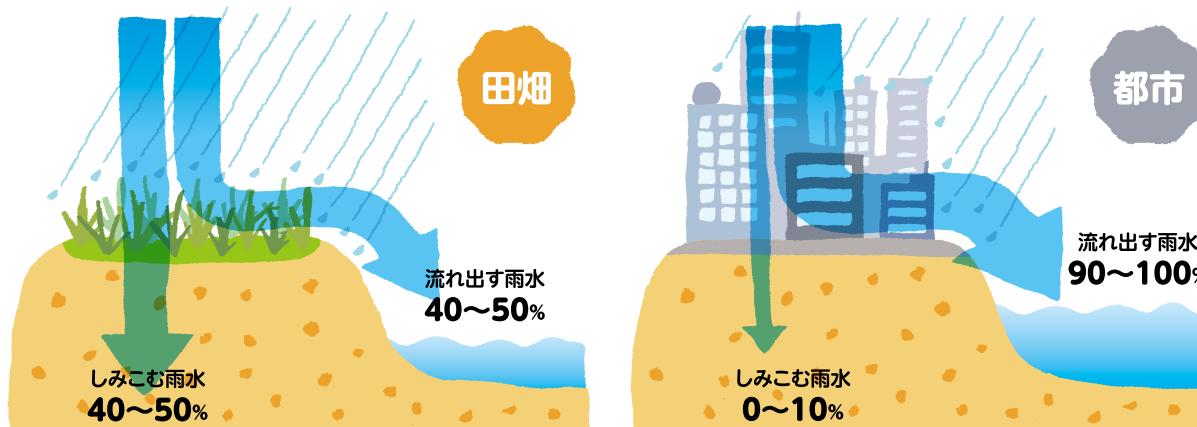
森は見えないけれど森は大きなダムなのです。

森には水源かん養といつて、雨水をたくさん貯めます。木などの植物は成長するために光合成を行い、空気中の二酸化炭素を吸収して、体の中に入っています。だから、森は元気に成長するだけで環境にやさしいのです。



水源かん養とは…

森が雨水を吸収して貯め、その貯めた水を調節しながら河川に流すことをいいます。



森は生きているだけで環境にやさしいのです。

空気中の二酸化炭素が増えると、地球温暖化がすすんで、環境に影響が出ます。木などの植物は成長するために光合成を行い、空気中の二酸化炭素を吸収して、体の中に入っています。だから、森は元気に成長するだけで環境にやさしいのです。